

国土利用計画に向けた地域イノベーション・プロジェクト 2016

－日本とインドの国際技術交流－

日 時： 2016年3月18日(金) 14:00～16:30

会 場： 総合南東北病院 NABE ホール (郡山市)

スマートコミュニティ実現のためには ①再生可能エネルギーの活用、②農業の近代化を含むバイオテクノロジー、そして③人々の健康寿命の促進 が重要な要件と考えられる。これらを進展させるため、福島での地域イノベーションプロジェクトを発展させ、同じ志を持つインドMP州との連携を提案した。

ノーベル・サステナブル・トラスト財団を主催しているノーベル博士を招聘し、日本とインドの国際技術交流を進め、福島の地域イノベーション・プロジェクトでインドとの連携を推進するとの合意をした。フォーラムの最後に、財団法人脳神経疾患研究所の渡邊一夫理事長立会いのもと、この意志を明記した MoU (Memorandum of Understanding) にマイケル・ノーベル博士、インド太陽エネルギー協会 (SESI) ラジンダー・クマール・カウラ会長、TeFFA の加藤廣理事長が署名した。

南東北病院の最近治験を開始した BNCT (Boron Neutron Capture Therapy) 装置を含む最新医療設備と健康寿命延伸を目指す施設「健院 L-cub」の視察も実施した。

